

トリフォニーホールの改修計画について



新しいすみだ
井上 ノエミ

問 ①改修費用は、以前は30億円と言われていたが、最近では50億円となっている。更に金額が大きくなる可能性はあるのか。②施設利用者の多くは区外の方であるため、改修費は受益者負担の観点により、利用者からの回収を検討するべき。③改修工事により、福祉教育等の予算に影響が出る可能性が高いが、区長の所見は。

答 ①ホールの修繕に当たり、専門家の意見を取り入れ、また、建物の劣化状況等を踏まえ、修繕内容と経費の概要を明らかにした。昨今の資材高騰等による経済状況の変化等に対応するため、経費等を含む工事の詳細については、設計の際に改めて精査したい。②受益者負担の考え方に加え、

③両国駅の自転車駐車場の整備に力を入れていただきたいが、区長の見解を伺う。

問 駅周辺の需要はおおむね満たしている」と認識しており、新たに整備する考えはないが、周辺の自転車駐車場の周知をより一層進め、適地についても引き続き検討していく。

答 今月には来年度の都立高校の入試のための英語のスピーキングテストが行われる。学校でのスピーキング指導の成果は上がっているのか。

問 授業でのネイティブティーチャ―を活用したスピーキング指導等により、「話す」力だけではなく、「聞く」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育むことにつながり、「墨田区学習状況調査」で一定の成果が出ていると認識している。

答 授業でのネイティブティーチャ―を活用したスピーキング指導等により、「話す」力だけではなく、「聞く」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育むことにつながり、「墨田区学習状況調査」で一定の成果が出ていると認識している。

暮らし・経済再生実現のための区独自の施策について



立憲民主党
中村 あきひろ

問 民間事業者の「物価高騰に対する子育て世代の意識調査」によると、子育て世代の85・6パーセントが昨今の物価高騰に危機感を抱き、その半数以上が「家計の見直し」を検討していることが判明した。子育て世帯の厳しい状況に対する他自治体の独自施策等も参考に、本区も独自支援策として、経済的効率性、事務効率性が高く、現金給付と同様の効果が生ずる給食費の無償化を含む軽減措置を講じ、家計の負担軽減等を図るべき。

答 区では、独自施策として、低所得の子育て世帯に対し、夏休みにお米を支給したほか、今定例議会でも支援に係る補正予算を提案している。学校給食費については、学校給食法第11条により保護者負担が適当と考えており、無償化は、国が広域的に対応するべきであるため、区単独での実施は考えていない。今後とも、子育て世帯への支援について検討していく。

問 ①会計年度任用職員の報酬等の処遇について、正規の職員と比べて十分かどうか、区長の認識を伺う。②本年7月に実施された、本区の会計年度任用職員に対する処遇改善に関するアンケートの結果が非常に切実な状況となっていることを踏まえ、区としても公式にアンケートを実施する等、実態把握に努めるべき。

答 ①処遇については、地方自治法及び地方公務員法に基づき、国や他自治体との均衡を図ることを前提に制度設計しており適正である。常勤職員と勤務形態等が異なるため、処遇の違いも適当である。②会計年度任用職員については、所属長を通じて実態を適切に把握しており、改めてアンケート調査を実施する考えはない。

答 ①処遇については、地方自治法及び地方公務員法に基づき、国や他自治体との均衡を図ることを前提に制度設計しており適正である。常勤職員と勤務形態等が異なるため、処遇の違いも適当である。②会計年度任用職員については、所属長を通じて実態を適切に把握しており、改めてアンケート調査を実施する考えはない。

墨田区公式LINEについて



地域連合「すみだの絆」
田中 哲

問 ①来年7月をめどに、新たな区政情報の発信手段としてLINEを活用するとの答弁が決算特別委員会であった。是非、進めるべき施策と考えるが、高齢者はLINEを使いこなせるのか。②本区で開催された高齢者向けスマホ講習会・相談会の受講者数は延べ1500人程と聞く。本区の65歳以上の人口は約6万人だが、この程度の講習会等で高齢者のデジタルデバイスが解消されるのか。③高齢者のデジタルデバイス対策に関する本年度予算額は、区が公式LINEを使用するのであれば、デジタルデバイス対策予算の積み増しが必要か、画竜点睛を欠くことになる。また、高齢者がSNSを使うことでコロナ禍において希薄になりかけている「人と人とのつながり」を取り戻すきっかけとなればと考える。高齢者向けスマホ講習会への来年度予算の増額を求める。

答 ①福祉部門においてデジタルデバイス対策として、スマホ講習会を開催しており、一定の浸透が図られていることから、公式アカウント導入に当たり、高齢者を含め、どなたにも分かりやすく使いやすい運用を目指していく。②高齢者のデジタルデバイス対策は重要であると認識しており、老人クラブ会員を対象とする事業は、来年度、事業規模の拡大を検討している。また、都のスマホ相談会は、毎回好評と聞くため、都と協議し更に多くの高齢者に参加いただけるよう工夫していく。③今年度予算は約283万円である。ご指摘のように、コロナ禍で希薄になりかけている「人と人とのつながり」を取り戻す良い機会になると考えるため、これまでの事業実績や成果も踏まえて適切に対応していく。

答 ①福祉部門においてデジタルデバイス対策として、スマホ講習会を開催しており、一定の浸透が図られていることから、公式アカウント導入に当たり、高齢者を含め、どなたにも分かりやすく使いやすい運用を目指していく。②高齢者のデジタルデバイス対策は重要であると認識しており、老人クラブ会員を対象とする事業は、来年度、事業規模の拡大を検討している。また、都のスマホ相談会は、毎回好評と聞くため、都と協議し更に多くの高齢者に参加いただけるよう工夫していく。③今年度予算は約283万円である。ご指摘のように、コロナ禍で希薄になりかけている「人と人とのつながり」を取り戻す良い機会になると考えるため、これまでの事業実績や成果も踏まえて適切に対応していく。

錦糸町のまちづくりについて



自由民主党
坂井 ユカコ

問 ①墨田区都市計画マスタープランで広域から人を集める拠点として位置付けられている錦糸町は、JR総武線快速を使えば都心部に直通でつながり、地下鉄8号線が延伸した暁には、臨海副都心とのアクセスが飛躍的に向上する。大都市東京の中で錦糸町は、どのように位置付けられるまちであるべきと考えるか。②錦糸町駅前には、常態的に人と車両の動線が交錯している。安全性の確保とともに円滑な移動環境が整うことで活性化が期待できるが、錦糸町が更に多くの人を集めるまちとなっていくとき、現状の都市基盤における課題を伺う。③錦糸町らしいまちづくりを推進するために、多様なステークホルダーの意見を聞き取り、将来ビジョンを共有していくことが必要だが、今後どのように錦糸町のまちづくりを推進していくのか。

答 ①今後、多くの人が行き交う交流拠点としても大きく発展する可能性があるため、商業、業務、娯楽機能が高度に集積した東京東部エリアを代表するまちとして、地域や企業、団体等と協力し、まちづくりを進めていきたい。②交通結節点としての機能に課題があると認識している。今後は、安全で円滑な移動環境を整えられるよう課題を整理した上で関係機関と協議していく。③長期的なまちづくりを見据え、まちに関わる様々な方からご意見をいただく機会の創出や、地域の皆さんが主体となって議論し、将来ビジョンを共有する環境づくりに取り組んでいきたい。地下鉄8号線の延伸を契機と捉え、住民にとって暮らしやすく、就業者にとって働きやすく、来訪者にとって訪れて楽しい魅力にあふれた錦糸町のまちづくりを推進していく。

答 ①今後、多くの人が行き交う交流拠点としても大きく発展する可能性があるため、商業、業務、娯楽機能が高度に集積した東京東部エリアを代表するまちとして、地域や企業、団体等と協力し、まちづくりを進めていきたい。②交通結節点としての機能に課題があると認識している。今後は、安全で円滑な移動環境を整えられるよう課題を整理した上で関係機関と協議していく。③長期的なまちづくりを見据え、まちに関わる様々な方からご意見をいただく機会の創出や、地域の皆さんが主体となって議論し、将来ビジョンを共有する環境づくりに取り組んでいきたい。地下鉄8号線の延伸を契機と捉え、住民にとって暮らしやすく、就業者にとって働きやすく、来訪者にとって訪れて楽しい魅力にあふれた錦糸町のまちづくりを推進していく。

会派構成等が一部変わりました

令和4年12月12日付けで、あさの清美議員の所属会派等は、「日本共産党墨田区議会議員団」から「革新すみだ」に変わりました。

なお、本号の12月11日以前の記事における当該議員の所属会派等の表記は、変更前の内容で掲載しております。

中学生区議会が開催されました

12月14日に令和4年度中学生区議会が開催されました。

中学生区議会は、未来の墨田区を担う子どもたちに、区政や区議会の仕組みについて学び、体験することを通じて、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見を聴取し、区政の参考とすることを目的に実施しており、今年で29回目となります。

当日は、3人の中学生議員が代表質問を行った後、各区立中学校2人ずつの計20人が3つの委員会に分かれ、「みんなが主役のまち すみだ」「安全安心なまち すみだ」「誰もが楽しめるまち すみだ」について質疑・応答を行いました。



中学生区議会の様子

【今後の会議日程(予定)】

	会 議 名	開会時間	傍聴席		会 議 名	開会時間	傍聴席
1月 26日 (木曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	17階	2月 28日 (火曜日)	予算特別委員会	午前10時	17階
2月 1日 (水曜日)				3月 1日 (水曜日)			
2月 2日 (木曜日)	本会議 (2月議会初日)	午後1時	19階	3月 3日 (金曜日)			
2月 10日 (金曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	17階	3月 6日 (月曜日)			
2月 13日 (月曜日)	本会議	午後1時	19階	3月 8日 (水曜日)			
2月 14日 (火曜日)				3月 9日 (木曜日)	子ども文教委員会		
2月 15日 (水曜日)				3月 13日 (月曜日)	地域産業都市委員会		
2月 20日 (月曜日)	予算特別委員会	午前10時	17階	3月 14日 (火曜日)	区民福祉委員会	午後1時	
2月 21日 (火曜日)				3月 15日 (水曜日)	企画総務委員会		
2月 22日 (水曜日)				3月 22日 (水曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	
2月 24日 (金曜日)				3月 24日 (金曜日)	本会議 (2月議会最終日)	午後1時	19階

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 10月27日(木)
11月30日(水)
12月7日(水)
案件 議案10件、報告7件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区公共料金支払基金条例(一部改正)

電気料金及びガス料金の高騰等に対応するため、墨田区公共料金支払基金の額を2億円から3億円に引き上げるもの

基金増額の理由は

問 墨田区庁舎及びリバーサイドホテルの開庁後、公共料金について試算をした上で本基金の額を2億円とし、これまではこの額を超えることはなかったと思う。今回の基金増額は、想定を超える燃料費の増額によるものなのか。引上げ後の基金額を3億円とした根拠も含めて伺う。

答 現在、公共料金の支払が増加し続けていること、例年、冬場には公共料金の支出が増える傾向にあること等を勘案し、口座残高がマイナスとなる可能性が高いと考え、増額を提案した。また、本年12月から法人向けの電気基本料金が引き上げられるとの報道もあり、ガス料金等も見逃せないことなどから、その都度の増額ではなく、1億円の増額とした。

区民に直接的な支援を

意見 燃料費高騰等に対し、行政がこのような対策をするということは、区民の暮らしも当然苦しいはずである。燃料費増加等によって生活が苦しい区民に対し、区は直接的な支援をするべきである。

可決
令和4年度墨田区一般会計補正予算(第10号)

新型コロナウイルス感染症への対策や光熱費の高騰に伴う施設維持費、子育て世帯等定住促進事業費等として3億7426万6000円を追加するもの

公共施設のLED化推進を

問 当面、光熱費の上昇は目に見えている。公共施設のLED化について、これまでは長期的に進めるというものであったが、事業を大幅に前倒しするべきではないか。

答 庁舎のLED化については、以前から庁舎リニューアルプランの中で柱として掲げ、取り組んでいる。また、公共施設のLED化については、長期修繕計画に基づき、順次進めていく。公共施設におけるLED化については、スピードアップしていく必要があると考えており、検討していく。

年末の受付について

問 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限が12月31日まで延長されたが、庁舎の年内開庁は12月28日までである。年末の申請受理についての考え方を伺う。

答 閉庁後は、郵送での受付となる。12月31日消印のものまでを有効として取り扱い、受付後に不備等があった場合も、修正等を求めた上で、有効な申込みとして扱う。



区民福祉委員会

開会日 10月27日(木)
11月30日(水)
12月6日(火)

案件 議案6件、陳情1件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区心身障害者通所訓練所条例(一部改正)

亀沢のぞみの家の長期計画修繕に伴い、当該修繕期間における亀沢のぞみの家の位置を仮施設を設置する位置とするもの

亀沢のぞみの家の修繕工事について

問 9月議会において、改修工事は来年2月から5月までの期間に行うと報告されていたが、建設工事等入札結果を確認すると、入札不調となっている。不調となった要因とこれに伴う工事期間の延期について伺う。

答 入札不調の理由は、半導体不足による材料の不足及び技術者の不足である。工期については、入札不調という結果を受け、改めて工事契約を結び直すため、明確な期間是不明であるが、およそ3か月程度の延期が予想される。



亀沢のぞみの家

可決
いきいきプラザの指定管理者の指定について

令和5年4月1日から5年間、社会福祉法人奉優会を同施設の指定管理者に指定するもの

利用者の声をしっかりと聴いてほしい

問 現在の事業者が行っている事業の中には、健康マージャンや健康体操など、利用者に人気のあるものもあると聞く。今回、事業者が変更となるが、利用者の声やニーズをしっかりと聴いた上で、事業継続等の対応をしてほしい。

答 具体的には、これから現指定管理者から次期指定管理者への引継ぎを行い、協議をした上で進めていくこととなるが、社会福祉法人奉優会からは、利用者のニーズが高い事業については、今後も継続していきたいという話を伺っている。

採択
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情外1件

小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置、小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税の減免措置、商業地等における固定資産税及び都市計画税の減額措置を、令和5年度以後も継続するよう、都に対し、意見書の提出を求めるもの

必要な措置である

意見 長引く新型コロナウイルス感染症の影響や諸物価の高騰、また、今後、コロナ融資の返済が始まるなど、事業者にとっても大変厳しい経済状況となっている。特に小規模事業者の負担軽減は、必要な措置であると考え、採択としたい。



地域産業都市委員会

開会日 11月30日(水)
12月5日(月)

案件 議案5件、報告11件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区地域プラザ条例(一部改正)

可決
墨田区営運動場条例(一部改正)

八広地域プラザ体育館及び立花体育館への空調設備の設置に伴い、受益者負担の適正化を図るため、使用料の上限額を改定するもの

※この2議案は、対象施設が異なるのみで、改正理由及び改正内容が同様であるため、理事者から一括して説明を聴取した後、議案審査を行いました。

利用料金の値上げはやめるべき

意見 物価高騰等により区民生活が苦しい中で、値上げは認められない。空調設備設置に係る費用増加分については、区が補助金の支給等により対応するべきであると考え、本議案については反対する。



八広地域プラザ体育館

子ども文教委員会

開会日 11月30日(水)
12月2日(金)

案件 議案7件 報告3件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区子育てひろば条例(一部改正)

保育室において実施している一時預かり事業の利用料金の単位を日単位から時間単位に変更するとともに、時間区分ごとの利用料金の上限額を新たに設けるほか、所要の規定整備をするもの

利用に係る実態把握について

問 今回は、区民目線に立った改正であると評価しているが、現場から声があがった時点で速やかに改正等を検討するべきであったとも考える。所管としては、どのように実態把握しているのか。

答 実態として、利用者の8割以上が利用可能上限時間の利用を行っている。利用者アンケートでも利用時間の拡大を求める声も多いため、今回の改正により利用者の増加も見込めると考えている。

